

## はじめに

我が国の消防は昭和23年発足以来、その時代の要請に応えるべく火災、予防、救急、救助及び防災など広範な分野で強化されているところであり、本県においても、消防体制は関係機関及び関係各位の熱意と御努力により年々充実し、発展してきているところです。

しかしながら、近年、社会経済情勢の著しい変化と都市化の進展により、災害の態様はますます複雑多様化し、大規模化の傾向にあり、消防行政をとりまく環境は一段と厳しさを増しています。

このような状況の中で、本県においては、火災、予防、救急・救助などの消防力の充実と、消防・防災ヘリコプターの活用はもとより、防火、防災思想の普及に努めるとともに、地域における婦人防火クラブ等の育成強化を図り、関係機関、住民、事業所及び消防機関が一体となった地域ぐるみの消防防災体制の確立に努めているところです。

また、平成23年度は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災等を教訓に、鹿児島県地域防災計画の見直し作業を進めているほか、鹿児島県原子力災害対策暫定計画を平成23年12月27日付けで策定しました。

本書は、関係機関の協力を得て、本県の消防体制をはじめ、火災、予防、救急、救助業務の状況等を取りまとめたものです。今後の消防防災行政を推進するうえで広く活用いただければ幸いと存じます。

平成24年3月

鹿児島県危機管理局長 平田 浩和